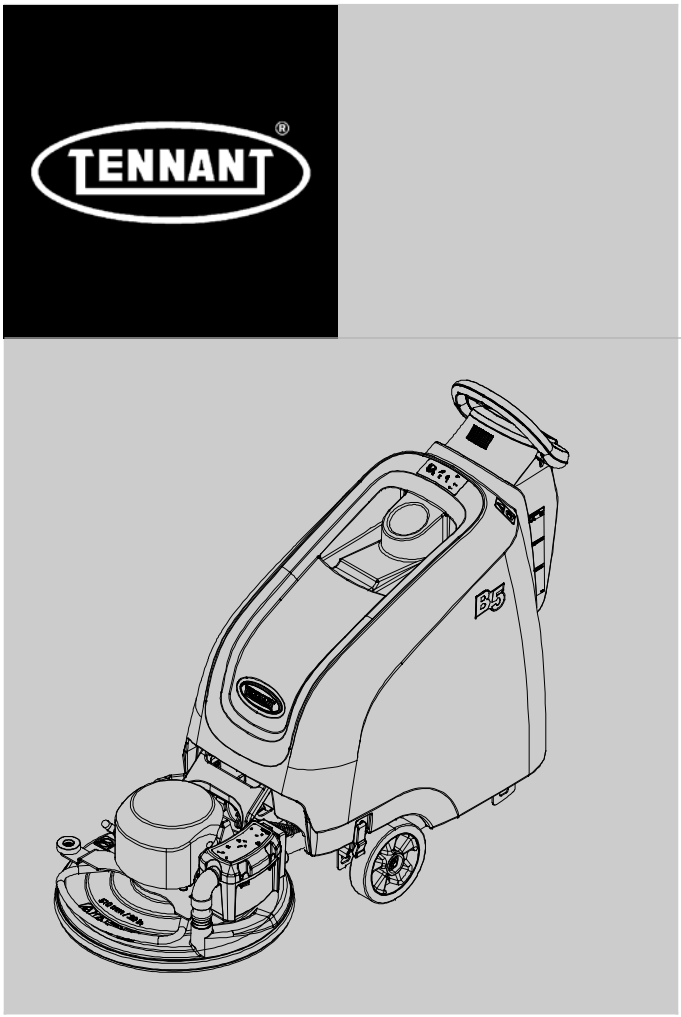
B5/B7

歩行型バッテリー式バーニッシャー



日本語 JP

オペレーターマニュアル

最新のパーツマニュアルまたは他の言語のオペレーターマニュアルについては、
www.tennantco.com/manuals
にアクセスしてください。

Japan
www.tennant.co.jp

9011494
Rev. 00 (01-2014)

はじめに

本マニュアルはそれぞれの製品に同梱されており、。製品の操作や手入れに必要な説明が記載されています。

本マニュアルを読み完全に理解してか本機の操作や点検整備を行ってくださ

またすべてのパーツを図解した「パーツマニュアル」も製品に同梱されています。
この「パーツマニュアル」は、交換部品の注文時にご利用ください。
製品が確実にお手元に届くよう、ご注文の際は「パーツマニュアル」に印刷されている「パーツ発注方法」の説明をお読みください。

本機には優れた耐久性があります。
最小のコストで最良の結果を得るためには、次のことにご留意ください。

- 本機は十分注意して操作してください。
- 本機は決められた手順に従い、定期的に整備してください。
- 本機は、テナント社純正のパーツまたは同等品を使用し点検整備してください。

取扱説明書の閲覧またはダウンロードは、
www.tennantco.com/manualsにアクセスしてください。

環境の保護

梱包材、バッテリーなどの使用済部品を廃棄するときは、各国の法令に従い、環境に安全な方法で廃棄してください。

常にリサイクルを検討してください。

Tennant Company
PO Box 1452
Minneapolis, MN 55440
Phone: (800) 553-8033 or (763) 513-2850
www.tennantco.com

テナントカンパニー日本支店
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町2番地
産業貿易センタービル9階
電話: 81-45-640-5630
Fax: 81-45-640-5604
www.tennant.co.jp

TrojanおよびHydroLINKは、Trojan Battery Companyの登録商標です。

本書に記載された仕様やパーツは、予告なく変更される場合があります。

操作マニュアル（原本） Copyright © 2014 Tennant Company.
無断複写･転載を禁じます。 Printed in U.S.A.

使用目的

バーニッシャーは、ホテル、学校、病院、工場、店舗、オフィス、レンタル業などの商業用途に制限されています。
滑らかで乾燥した室内の硬質床（VCT、テラゾ、大理石、塗装済みのハードウッド、被覆コンクリートなど）を磨くために設計されています。
本機は、カーペットの上では使用しないでください。
本機の用途に適したつや出しパッドのみを使用してください。
本オペレーターマニュアルで説明した機種以外は使用しないでください。

本機のデータ

後日確認できるように、納入時に記入してください。

機種番号 - _____

シリアル番号 - _____

設置日 - _____

目次

はじめに 2
使用目的 2
本機のデータ 2

操作

重要な安全注意事項 4
安全ラベル 6
本機の構成 7
本機の納入 8
　開梱時 8
　バッテリーの据付け 8
本機の動作概要 10
本機のセットアップ 10
　つや出しパッドの取付け 10
　パッド接地圧設定（機械式パッド圧調整を装備したモデル） 11
　集塵バッグおよびHEPAフィルターの取付け 12
本機の操作 13
　始動前の準備 13
　本機の操作 13
　非常停止ボタン（駆動モデル） 15
　コントロールコンソール警告マーク 15
　本機の運転時 16
　バッテリー放電インジケーター 16
　アワーメーター 17
　サーキットブレーカー/ヒューズ ... 17
　サービスインジケーターコード 18
バッテリーの充電 20
　バッテリーの充電 20
　バッテリー充電器の設定 22

メンテナンス

メンテナンス表 23
本機の点検整備 24
　毎日の整備 24
　1週間の運転毎の整備 25
　50時間の運転毎の整備 25
　100時間の運転毎の整備 25
　200時間の運転毎の整備 26
　1000時間の運転毎の整備 26
　モーターの点検整備 26
バッテリーの点検整備 26
　密閉型AGMバッテリー 26
　湿式/鉛酸バッテリー 27
　HYDROLINK® バッテリー式散水システム（オプション） 27
本機のジャッキアップ 29
輸送のための本機の積み降ろし 29
本機の保管 30
故障診断 31

仕様

B5モデルの寸法/容量/性能 33
B7モデルの寸法/容量/性能 34
B5モデルの寸法 35
B7モデルの寸法 36

重要な安全注意事項 - これらの指示事項を保存してください

下記の注意事項は、本マニュアルを通して、それぞれに示した説明に従って使用しています。

⚠ 警告：重傷や死亡などの結果を引き起こす危険な使い方を警告します。

安全のために：
装置を安全に使うために必要な手順を示します。

下記の情報は、オペレーターが危険にさらされるおそれがある内容を示しています。
危険な状態が発生する可能性を理解してください。
本機の安全装置の場所をすべて確認してください。
本機が損傷したり動作が異常になった場合は、すぐに連絡してください。

⚠ 警告:発火、爆発、感電、損傷のリスクを軽減するため以下の記載に従ってください。

- **本機を使用する前に、マニュアルをお読みください。**
- **引火性物質を使用または吸引しないでください。**
- **可燃性液体、引火性気体、または粉塵の近くでは、使用しないでください。**
  本機は防爆形モーターを搭載していません。
  電動モーターはその起動時や運転時にスパーク(火花)を発生することがあり、本機を可燃性の気体、液体または粉塵が存在する場所で使用すると、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
- **バッテリーは水素ガスを排出します。**
  爆発や発火の危険があります。
  充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
- **清掃および点検整備する前に、バッテリーケーブルと充電器のプラグを外してください。**
- **破損したコードでバッテリーを充電しないでください。**
  プラグを改造しないでください。
  充電器の電源コードが損傷したり破損している場合は、危険防止のため、メーカーまたは代理店、あるいは専門の担当者に交換を依頼してください。
  適合しない充電器を使用すると、バッテリーが損傷し火災を引き起こすおそれがあります。
- **屋外や表面が濡れている場所で使用しないでください。 屋内で保管してください。**
  本機の使用は乾燥した場所での用途に制限されています。
- **本機は、有害粉塵の収集用ではありません。**
- **回転パッドには手を近づけないでください。**

安全のために：

1. **以下の場合は、本機を使用しないでください。**
   - **操作の訓練を受けていない場合や、資格がない場合。**
   - **操作マニュアルを読んで内容を理解していない場合。**
   - **本機の取り扱いに従う精神的、身体的能力が十分でない場合。**
   - **アルコールや薬物の影響下にある場合。**
   - **携帯電話またはその他の電子機器を使用している場合。**
   - **正しい動作条件でない場合。**
   - **屋外のエリア。**
     本機の使用は屋内の用途に制限されています。
   - **テナント社純正またはテナント社認定のパッドまたはアクセサリー以外を取付けている場合。**
     他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。
   - **落下物がある可能性がある場合。**
   - **本機の操作や運転を行うために安全に視界が確保できないほど暗い場所。**
   - **集塵バッグとフィルターを取付けていない場合。**
2. **本機を使う前に：**
   - **安全装置がすべて所定の位置にあり、正しく機能していることを確認してください。**

3. 本機を使用の際：
   - 本取扱説明書に記載されていない方法で使用しないでください。
   - 本機が損傷したり動作が異常になった場合は、すぐに連絡してください。
   - つま先が覆われた、ノンスリップ（滑り止め）作業靴を履いてください。
   - 方向転換するときは速度を落としてください。
   - 回転パッドに手を近づけないでください。
   - 斜面や滑りやすい場所ではゆっくり進んでください。
   - 傾斜が9%以上の斜面での本機の使用、または傾斜が19.5%の斜面での輸送は避けてください。
   - 本機に人や物を乗せないでください。
   - 本機を後退させるときは注意してください。
   - お子様や関係者以外を本機に近づけないでください。
   - おもちゃとして使用しないでください。
4. 本機から離れる場合、または点検整備する場合:
   - 平らな場所に停めてください。
   - パーキングブレーキを装備している機種では、パーキングブレーキを掛けてください。
   - 電源を切り、キーを外してください。
5. 本機を点検整備する場合：
   - バッテリーの接続と充電器のコードを外してから、本機での作業を実施してください。
   - 作業は必ず、十分な照明があり、視界が良好な状況で実施してください。
   - すべての修理は、訓練を受けた担当者が行ってください。
   - テナント社製またはテナント社が承認した交換部品を使用してください。
   - 本機を改造しないでください。
   - 可動部に近づかないでください。ゆったりした衣服やアクセサリーは着用せず、髪が長い場合はまとめてください。
   - 充電器を使用しているときは、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。アーク放電が生じることがあります。充電を中断する場合は、まず、AC電源コードを外してください。
   - 適合しない充電器を使用しないでください。バッテリーパックが損傷し火災を引き起こすおそれがあります。
   - 充電器のコードが傷ついていないか定期的に点検してください。
   - 作業場の通気を良くしてください。
   - バッテリーの酸に触れないでください。
   - すべての金属製品はバッテリーのそばに置かないでください。
   - 本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
   - バッテリーを持ち上げる時は、ホイストを使用する、または適当な補助を受けてください。
   - 本機は指定の場所でのみジャッキで持ち上げてください。本機をジャッキスタンドで支えてください。
   - 本機をジャッキで持ち上げるときは、まず、タイヤに輪留めをしてください。
   - 本機の重量を支えられるホイストまたはジャッキを使用してください。
   - 必要に応じて、また本書で推奨されている場合は、保護具を着用してください。

安全のために：
保護手袋を着用してください。

安全のために：
保護眼鏡を着用してください。

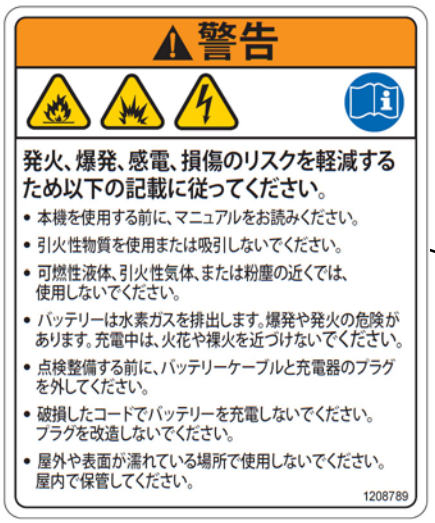
安全のために：
防塵マスクを着用してください。

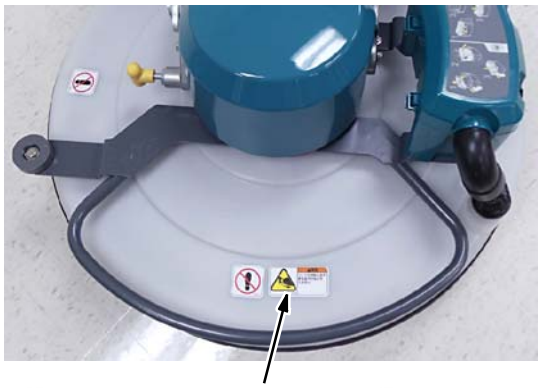
6. トラックまたはトレーラーへの本機積み降ろし：
   - 本機および運転者の重量を支えられるランプを使用してください。
   - 傾斜角度が19.5パーセント以上のランプでは本機を使用しないでください。
   - ランプの傾斜が19.5パーセント以上の場合は、ウィンチを使用してください。
   - 積み込み完了後、パッドドライバーを下げてください。
   - 電源を切り、キーを外してください。
   - パーキングブレーキを掛けてください（装備されている場合）。
   - タイヤに輪留めを装着してください。
   - 固定用ロープで本機を固定してください。

安全ラベル

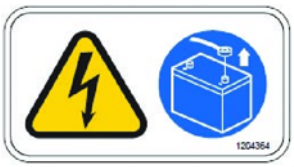
本機の以下の位置に、安全ラベルが貼付されています。
ラベルの一部が失われたり、傷ついたり、判読できなくなった場合は、新しいラベルと貼り替えてください。

警告ラベル – コントロールコンソールの側面に貼付されています。

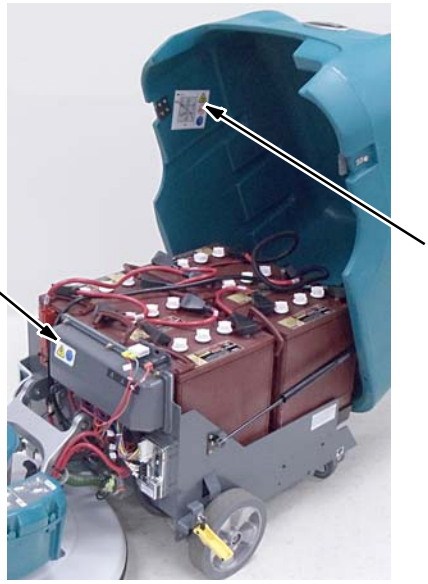


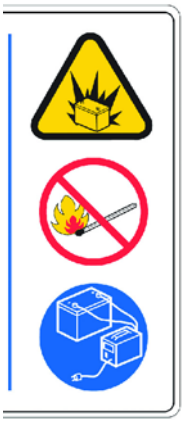


警告ラベル –
回転パッド。
手を近づけないでください。
つや出しヘッドに貼付されています。



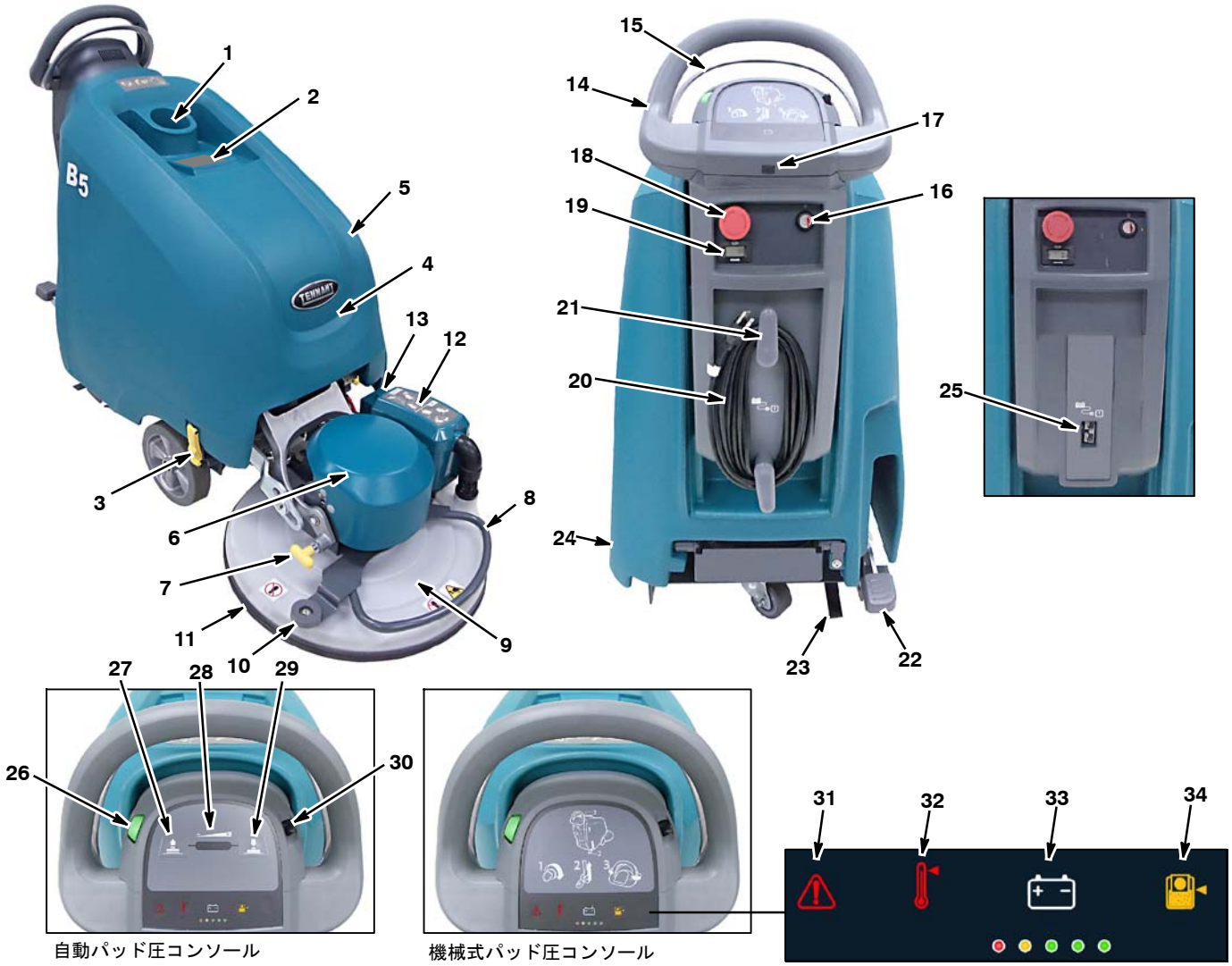
警告ラベル –
本機を点検整備する前に、バッテリーケーブルを取り外してください。
コントロールボードのカバーに貼付されています。





警告ラベル：
バッテリーは水素ガスを排出します。
爆発や発火の危険があります。
充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
本機カバーの背面に貼付されています。

本機の構成



自動パッド圧コンソール

機械式パッド圧コンソール

1. カップホルダー
2. 搭載型指示ガイド
3. バッテリー室フードラッチ
4. サーキットブレーカーパネル、バッテリー付近
5. バッテリー室フード
6. つや出しパッドモーター
7. ヘッドチルトロック/リリースノブ
8. バンパー/ヘッドリフトハンドル
9. つや出しヘッド
10. 壁面用ローラー
11. ダストコントロールスカート
12. 集塵バッグ室
13. HEPAフィルター（アクティブダストコレクションモデル）
14. コントロールハンドル
15. スタートベイル
16. 主電源オン/オフキースイッチ
17. USBプログラムポート
18. 非常停止ボタン（駆動モデル）
19. アワーメーター
20. 搭載型充電器コード
21. 搭載型充電器コードストレージフック
22. つや出しヘッドリフトペダル
23. 静電気防止ストラップ
24. パーキングブレーキ（オプション）
25. 定置型充電器ソケット
26. スピードダイヤル（駆動モデル）
27. パッド接地圧減少ボタン（自動モデル）
28. パッド接地圧インジケーター（自動モデル）
29. パッド接地圧増加ボタン（自動モデル）
30. 方向レバー（駆動モデル）
31. サービスインジケーター
32. モーターオーバーヒートインジケーター
33. バッテリー放電インジケーター
34. チェックダストバッグインジケーター

本機の納入

開梱時

1. マシンに損傷がないか注意深く点検してください。
   問題があれば、すぐに輸送会社に報告してください。
2. 内容物リストを確認してください。
   不足しているものがあったら、販売店またはテナント社に連絡してください。
   同梱物:
   - つや出しパッド（取付け済み）
   - 集塵バッグ（取付け済み）
     布製バッグ（オプション）
   - バッテリートレー
   - バッテリー式散水システム（搭載済み、オプション）
   - 定置型充電器（オプション）
   - 充電器コード/定置式充電器モデル(オプション)
   - パーツマニュアル
   - 使用およびケアのウォールチャート

   510mmモデル：
   - 3　バッテリー（取付け済み、オプション）
   - 2　バッテリーケーブル
   - 6　バッテリーポストゴムブーツ
   - 1-2 バッテリースペーサー

   610mm、690mmモデル：
   - 6　バッテリー（据付け済み、オプション）
   - 5　バッテリーケーブル
   - 12　バッテリーポストゴムブーツ
   - 2 バッテリースペーサー（AGMバッテリー）
3. 本機を開梱するには、ストラップ、輪留めおよび輸送用ブラケットを取り外します。
   同梱されているランプを慎重に使用して、本機をバックでパレットから降ろします（図 1）。
   つや出しヘッドが上がった位置にあることを確認してください。

注意：

本機をパレットから降ろすときは、必ずランプを使用してください。使用しないと、本機を損傷する恐れがあります。

図 1

バッテリーの据付け

本機にバッテリーが付属していない場合は、適切なバッテリーについて、販売店またはテナント社に連絡してください。

重要事項：

バッテリーと充電器が付属している場合、バッテリー放電インジケーターは、付属のバッテリーのタイプ用に出荷時にプログラムされています。

バッテリーが付属していない場合、バッテリー放電インジケーター（BDI）は、デフォルトで湿式/鉛酸バッテリー用にプログラムされています。

異なったタイプのバッテリー（密閉型バッテリー、AGMバッテリーなど）を据え付ける場合は、バッテリーの損傷を防ぐために、バッテリー放電インジケーターをプログラミングし直す必要があります。

詳細は、「バッテリーの充電」を参照してください。

バッテリーの仕様

B5モデル -

3-12V、ディープサイクル、185Ah湿式鉛酸バッテリー（プッシュモデル）.

3-12V、ディープサイクル、225Ah湿式鉛酸バッテリー（駆動モデル）.

3-12V、ディープサイクル、234Ah
AGM密閉型バッテリー
（オプション、プッシュおよび駆動モデル）

B7モデル -

6-6V、ディープサイクル、240Ah湿式鉛酸バッテリー.（610mmモデル）。

6-6V、ディープサイクル、330Ah湿式鉛酸バッテリー.（690mmモデル）。

6-6V、ディープサイクル、360Ah湿式鉛酸バッテリー.（オプション、610mm、690mmモデル）。

6-6V、ディープサイクル、312Ah
AGM密閉式バッテリー.
（オプション、610mm、690mmモデル）。

⚠ 警告： 火災または爆発の危険。
バッテリーは水素ガスを排出します。
爆発や発火の危険があります。
充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

安全のために：
本機を点検整備する場合は、必要に応じて、適切な保護具を着用してください。
バッテリーの酸に触れないでください。

1. 本機を平らな場所に停め、電源を切ってキーを取り外してください。
2. バッテリー室フードラッチを外し、フードを後ろ方向に持ち上げます（図 2）。
3. 必要な補助要員を確保した上で、バッテリーを慎重にバッテリー室に据え付け、図のように、バッテリーを配置します（図 3）。

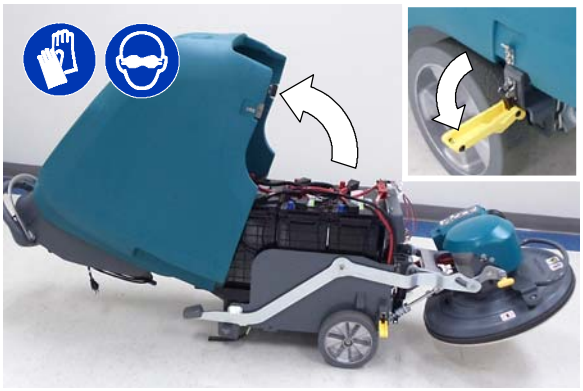
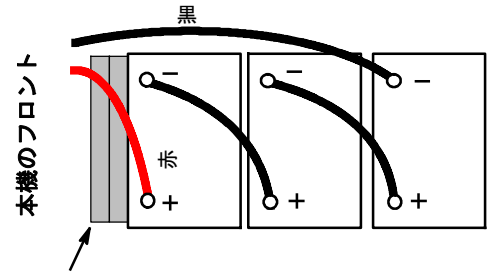


図 2

安全のために：
本機を点検整備でバッテリーを持ち上げる場合は、ホイストを使用するか、または適当な補助を受けてください。

4. バッテリーが動かないようにするには、同梱のバッテリースペーサーを図のように配置します（図 3）。
5. 供給されたバッテリーポストブーツを使用し、図のように、ケーブルをバッテリーポストに接続します（図 3）。
本機の黒い（-）バッテリーケーブルは最後に接続します。
バッテリー付近で作業をする時は、絶縁されたツールを使用してください。

B5モデル



フォームスペーサー:
1 - 湿電池
2 - AGMバッテリー

B7モデル

フォームスペーサー:
0 - 湿電池
2 - AGMバッテリー

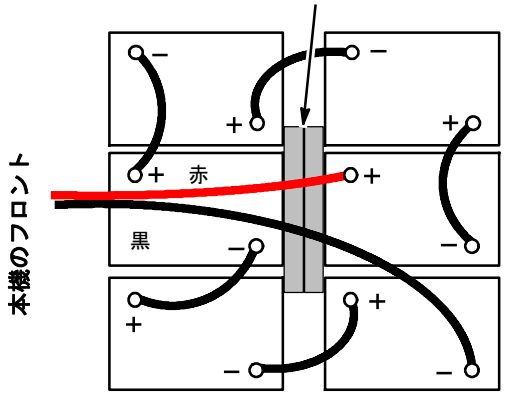


図 3

本機の概要

本機には、36Vのバッテリーパック（湿式/鉛酸バッテリーまたは密閉式/AGMバッテリー）が搭載されています。
つや出し処理は、圧力と前進運動を使用する高速回転パッドにより行われ、滑らかでつやのある表面仕上がりになります。
プッシュモデルは回転パッドを使用します。駆動モデルには走行モーターが装備されています。
パッド接地圧とつや出しの速度は、床のタイプおよび床の状態に応じて調節できます。
パッド接地圧はモデルによって、機械的にまたはアクチュエーターにより調節されます。
埃は、自動ダストコントロールシステムまたはアクティブダストコントロールシステムにより収集されます。
自動ダストコントロールバキュームシステムは、回転パッドからの遠心力を使用して、埃を収集するための真空を作ります。
アクティブダストコントロールバキュームシステムのモデルは、バキュームモーターと高性能のHEPA向けのフィルターで構成されます。
つや出し機能は、コントロールコンソールのスタートベイルにより、制御されます。

本機のセットアップ

つや出しパッドの取付け

つや出しパッドは、床のタイプ、仕上げおよび床の状態に応じて、様々な種類から選択できます。
適切なつや出しパッドについては、認定流通業者にお問い合せください。

出荷される新しいマシンには、つや出しパッドがあらかじめ取り付けられています。

出荷時に供給される交換用のつや出しパッド：
611788 - 510mm Hair Blend Burnishing Pad（数量： 5）
1204254 - 610mm Hair Blend Burnishing Pad（数量： 1）
1204255 - 690mm Hair Blend Burnishing Pad（数量： 1）

安全のために：
本機には、テナント社製純正のパッドまたはテナント社認定のパッド以外を使用しないでください。
他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。

1. 本機を平らな場所に停め、電源を切ってキーを取り外してください。
2. つや出しヘッドリフトペダルを踏み、左に動かし、ヘッドを床から浮かせてください（図 4）。
   ヘッドがパッド交換位置に固定されるまで、ヘッドリフトハンドルを上に引きます。

図 4

3. パッドドライバーにつや出しパッドを取付けます（図 5）。
   パッドがパッドドライバーの中心に取り付けられていることを確認してください。
   センターロックでパッドを固定します。
   パッドセンターロックを取り付けずに、本機を使用しないでください。

図 5

4. ヘッドチルトロックノブを引き、ヘッドをパッド交換位置から取り外します（図 6）。

図 6

パッド接地圧の設定（機械式パッド接地圧調整を装備したモデル）

機械式パッド接地圧調整を装備したモデルの場合、パッド接地圧は出荷時に最適に設定されています。
最適なつや出し機能には、床のタイプ、床の仕上がり、床の状態、パッドの種類など、多数の要素が関連します。

つや出しの用途に最も適した出荷時設定を確認する場合は、次の手順を実行してください。
つや出しのためにパッド接地圧が正しく設定されると、定期的なつや出しでパフォーマンスが安定します。　これは、*「Set and Forget」*（一度設定したら後は放っておけばよい）と呼ばれています。

1. パッド接地圧モードをオンにするには、コントロールパネル左側の隠しボタン（小さなくぼみ）を使用します（図 7）。
2. 隠しボタンを押し続け、キーをオンの位置に回します。
   バッテリー放電インジケーターの緑色のライト1つが点灯するまで、ボタンを押し続けます（図 7）。
   ボタンを放すと、緑色のライトは消灯し、サービスインジケーターマークが点灯します。

   これで、現在のパッド接地圧を確認する準備が整いました。

図 7

3. スタートベイルを引き、つや出しを開始します。最低10秒間作業を続けます（図 8）。
   LEDが次々に点滅し、次に1つのライトが点灯し、現在のパッド接地圧の設定を確認します。
   接地圧の設定は、次の表を参照してください。

図 8

LEDコード　○=オン	接地圧の設定
○ ● ● ● ●	点滅 – 低すぎる
○ ● ● ● ●	低
● ○ ● ● ●	中・低
● ● ○ ● ●	中
● ● ● ○ ●	中・高
● ● ● ● ○	高
● ● ● ● ○	点滅 – 高すぎる

接地圧「中」設定が推奨値です。
つや出し機能がこの設定であることを確認し、必要に応じて調整します。

接地圧を調整するには、次の手順に進みます。

4. つや出しヘッドを上げて、キーを取り外します。
   接地圧調整コッターピンを見つけます（図 9）。

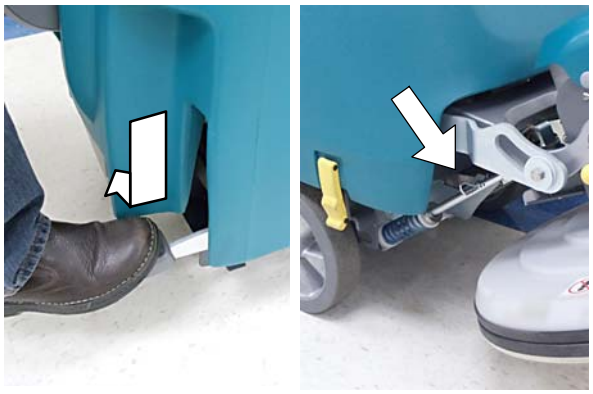


図 9

5. 接地圧を上げるには、コッターピンをモーター側の次の穴に移動します。
   接地圧を下げるには、コッターピンを反対方向の穴に移動します（図 10）。

図 10

6. 必要な接地圧になるまで、手順1～3を繰り返します。

集塵バッグおよびHEPAフィルターの取付け

出荷される新しいマシンには、紙製のバッグがあらかじめ取り付けられています。
オプションのアクティブダストコントロールシステムが装備されているモデルには、HEPAフィルターが事前に取り付けられています。

交換用バッグ/フィルター：
p/n 1210869 - 1パッケージ/紙製バッグ10枚
p/n 1208744 - 布製バッグ（オプション）
p/n 1203162 - HEPAフィルター

*注：*オプションの布製バッグは、アクティブダストコントロールシステムが装備されたモデルでの使用を想定していません。

安全のために：
ダストバッグとフィルターを取り付けずに、本機を使用しないでください。

1. 本機を平らな場所に停め、電源を切ってキーを取り外してください。
2. 集塵バッグ室のカバーを取り外します。
   カバーの2つのタブを押して、カバーを取り外します（図 11）。

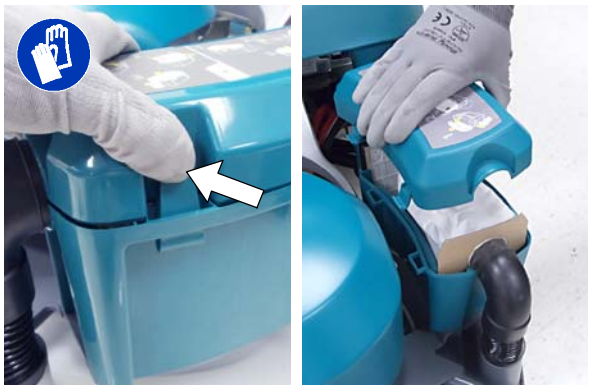


図 11

3. 図のように、集塵バッグとHEPAフィルターを取り付けます。
   カバーを元の位置に戻します（図 12）。
   HEPAフィルターはアクティブダストコレクションモデルに付属しています。

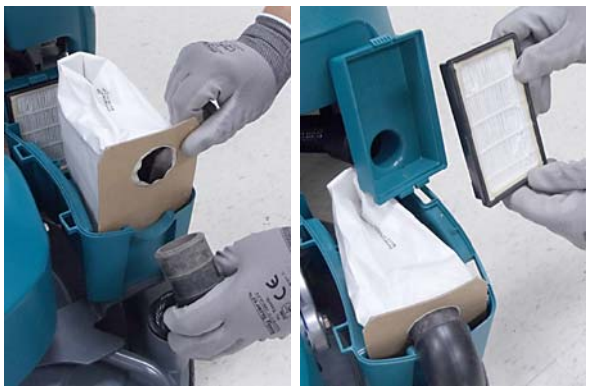


図 12

4. チェックダストバッグインジケーターはコントロールパネル上で周期的に点灯し、オペレーターにバッグがいっぱいかどうか点検するよう警告します。
   バッグの半分が使用されている場合は、交換します（図 13）。
   キーを再始動し、チェックバッグインジケーターをリセットします。

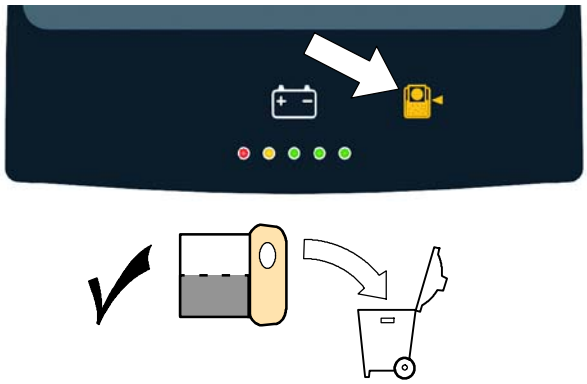


図 13

5. HEPAフィルターは、本機を200時間運転する毎に交換する必要があります（図 14）。

図 14

本機の操作

安全のために：
操作マニュアルを読んで内容を理解していない場合、本機を使わないでください。

始動前の準備

- ❑ 床を掃除し、障害物を取り除きます。
- ❑ 汚れている場合は、床を洗浄します。
- ❑ 床の表面が乾燥していることを確認します。スプレーバフ用スプレー液を本機で使用しないでください。
- ❑ バッテリー放電レベルインジケーターを確認します。
- ❑ 適切なつや出しパッドを選択します。
- ❑ つや出しパッドの状態を確認します。
- ❑ 集塵バッグがいっぱいかどうか点検します。
- ❑ バッグ室のバキュームホース接続部を確認します。
- ❑ 本機が正しく動作するか点検します。

本機の操作

1. 図のように、つや出しヘッドリフトペダルを解除して、つや出しヘッドを床に降ろします（図 15）。

図 15

2. パーキングブレーキレバーが装備されている場合は、解除します（図 16）。
3. キーをオン（I）の位置に回します（図 16）。

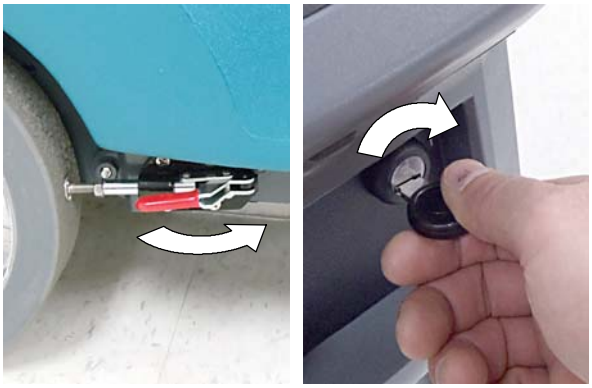


図 16

4. 駆動モデルの場合、方向レバーを前方に押します（図 16）。
本機を後進させるには、方向レバーを後方に引きます。
本機を後進させると、つや出しヘッドは床から浮き上がります。

図 17

5. つや出しを開始するには、スタートベイルを引きます（図 18）。
つや出しヘッドは、吸引力により床に近づきます。

図 18

6. プッシュモデルの場合は、本機をゆっくりと前に押します。
回転ブラシにより、本機は簡単に前進します。

   駆動モデルの場合は、スピードダイヤルを希望の速度まで回して、つや出しの速度を調整します
（図 19）。

図 19

7. 自動接地圧が装備されたモデルの場合は、パッド接地圧増加ボタンまたなパッド接地圧減少ボタンを押して、必要なパッド接地圧に調整します（図 20）。
最適性能を得るには、パッド接地圧インジケーターのLEDが中央になるように設定します。

図 20

   機械式パッド接地圧を装備したモデルの場合、パッド接地圧は出荷時に最適に設定されています。
パッド接地圧がつや出しのために正しく設定されていることを確認するには、「本機のセットアップ」セクションの「パッド接地圧の設定」を参照してください。

8. つや出しを停止するには、スタートベイルを解除します（図 21）。
駆動モデルには、ベイルが解除されると自動的に本機を停止する電磁ブレーキシステムが搭載されています。

図 21

9. 本機をある位置から別の位置に移動する場合は、つや出しヘッドを輸送位置まで上げます（図 22）。

図 22

非常停止ボタン（駆動モデル）

緊急時には、非常停止ボタンを押します（図 23）。
赤いボタンは、本機へのすべての電源を切ります。
電源を復帰させるには、ボタンを時計回りに回し、キーを再始動させます。

非常停止ボタンは、緊急時のみ使用してください。
このボタンは、日々の運転停止用には意図されていません。

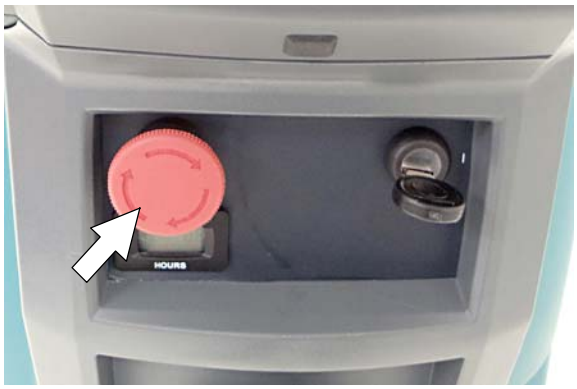
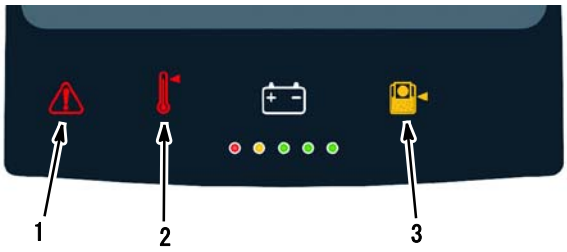


図 23

コントロールコンソール警告マーク

以下のコントロールコンソール警告マークは、次のような場合に点灯し、点滅を開始します。



1 – サービスインジケーター –
本機または充電器の故障が検出された場合。「サービスインジケーターコード」を参照してください。

2 –
パッドモーターオーバーヒートインジケーター – モーター温度が高すぎる場合。
本機の電源を切り、パッドモーターを冷やしてください。
モーターが冷めると、障害はなくなります。
推定原因：パッド接地圧の設定が高すぎる、またはパッドの種類が不適切です。
パッド接地圧を下げる、またはパッドの種類を変更してください。

3 – チェックダストバッグインジケーター –
集塵バッグがいっぱいかどうか確認が必要な場合。
バッグの半分が使用されている場合は、交換してください。
インジケーターをリセットします。

本機の運転時

1. 本機は、できる限り真っ直ぐに運転し、つや出しの幅がそれぞれの幅と数センチ重なるようにします。
2. 急カーブする場合は、本機の速度を落してください。
3. スプレーバフ用スプレー液を本機で使用しないでください。
4. パッド、パッドドライバーまたはダストスカートを損傷する可能性のある床の据え付け品または床の凹凸部を避けます。
5. 本機が柱や壁にぶつからないようにしてください。
6. 傾斜が9% 以上の斜面、または輸送中は19.5% の傾斜の上で本機を運転しないでください。
7. 駆動モデル：
   極端にすり減った床の場合は、スピードを落としパッド接地圧を下げて、最適なつや出し性能を確保します。
8. 定期的にパッドの状態を点検します。
   床の仕上げ剤が使用されている場合、または汚れが蓄積している場合は、必要に応じてパッドを裏返す、または交換してください。
9. チェックバッグインジケーターが表示されたときは、集塵バッグを確認します。
   バッグの半分が使用されている場合は、交換してください。
10. ダストコントロールスカートの状態を点検します。
    乾燥した床の仕上げ剤の塊は、スカートに留まり、縞状の跡になる場合があります。
11. バッテリー充電レベルインジケーターを確認してください。
    「バッテリー充電レベルインジケーター」を参照してください。
12. 駆動モデルが故障した場合は、しばらくの間、ゆっくりと押す、またはけん引することができます。
13. 本機を離れる場合は、電源を切ってキーを取り外します。
14. つや出し作業後は、マシンメンテナンスの手順を実行します。
    「本機の点検整備」参照してください。

バッテリー放電インジケーター

バッテリー放電インジケーター（BDI）はバッテリーの充電レベルを表示します。
バッテリーが完全に充電されている場合、5つのインジケーターライトがすべて点灯します（図 24）。
バッテリーが放電されると、インジケーターライトは右から左へ徐々に消灯します。

放電レベルが赤いライトに到達した場合は、つや出しを停止してバッテリーを充電してください。
赤いライトが点滅を開始した場合、つや出し機能は自動的に停止し、バッテリーが完全に放電されないよう保護します。 駆動モデル：赤いライトが点滅していても、本機は走行できます。
充電ステーションまで本機を走行させ、バッテリーを充電してください。

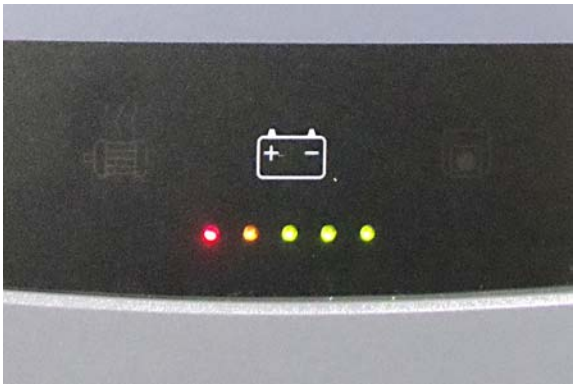


図 24

本機のバッテリー放電インジケーターは、付属のバッテリーの種類に応じてプログラムされています。
異なった種類のバッテリーまたはバッテリー容量（湿式/鉛酸バッテリー、密閉型バッテリー、AGM バッテリーなど）に変更する場合、バッテリーの損傷を防止するために、BDIをプログラミングし直す必要があります。
「バッテリーの充電」を参照してください。

アワーメーター

アワーメーターは、本機を運転した時間数を記録します。
特定のメンテナンス手順の実行、または整備履歴の記録のためにアワーメーターを使用します。
アワーメーターは、コントロールコンソールにあります（図 25）。

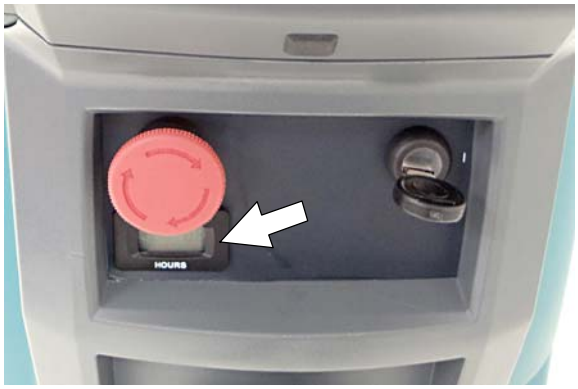


図 25

サーキットブレーカー/ヒューズ

本機は、電流過負荷から本機を保護する、3つのリセット可能なサーキットブレーカーを装備しています。
ブレーカーが作動した場合は、原因を確認した上で、サーキットブレーカーをリセットしてください。
サーキットブレーカーがリセットされない場合、または繰返し作動する場合は、訓練を受けた担当者にご相談ください。

サーキットブレーカーはバッテリー室付近にあり、次のように識別されています（図 26）。

サーキットブレーカー：
1（2.5A）コントロールボード
2（15A）アクチュエーター/アクティブダストコントロール
3（30A）メイン/走行/パッドドライブ

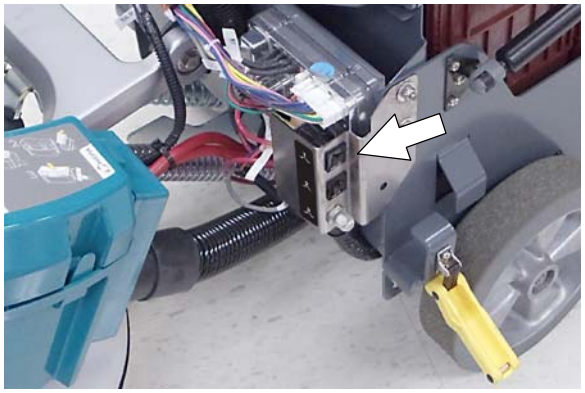
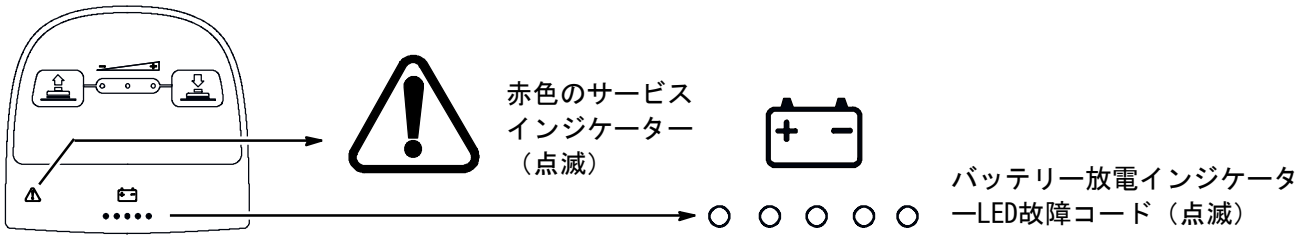


図 26

安全のために：
本機を点検整備する場合、すべての修理は訓練を受けた担当者が行う必要があります。

サービスインジケーターコード

本機またはバッテリー充電器に故障や警告が検出されると、赤いサービスインジケーターと特定のバッテリー放電インジケーターLEDコードが継続的に点滅表示します。
次のLEDコードを参照して、故障を特定してください。



LED故障コード： ○= 点滅	原因	解決方法
○ ○ ○ ○ ○	非常停止ボタンがオンになっている。	非常停止ボタンを左に回してリセットし、本機を再始動する。
● ● ● ○ ○	パッドモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
○ ● ● ● ●	パッドモーターの電圧損失。	サービスセンターに連絡してください。
○ ● ● ○ ○	パッドモーターの電流がハードウェアの限界を超えている。	本機を再始動してください。 故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。
○ ● ○ ● ●	パッドモーターの電流が長期間高すぎる。 パッド接地圧が高すぎる。	パッド接地圧を減少してください。 故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。
○ ○ ○ ● ○	パッドモーターの短絡。	サービスセンターに連絡してください。
○ ● ○ ○ ●	パッドモーターとコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
● ● ● ○ ●	ヘッドアクチュエーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
● ○ ● ● ○	つや出しの過電流。	サービスセンターに連絡してください。
● ● ○ ● ○	ヘッドアクチュエーターのサーキットブレーカーの作動。	本機の電源スイッチを切り、サーキットブレーカーをリセットしてください。 ブレーカーが繰返し作動する場合は、サービスセンターに連絡してください。
○ ○ ● ○ ○	ヘッドアクチュエーターの動きが遮断される。	本機を再始動して、コードを消去してください。 故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。
○ ○ ○ ○ ●	ヘッドアクチュエーターまたはバキュームモーターおよびコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
● ● ○ ● ●	バキュームモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。

サービスインジケーターコード - 続き

LED故障コード： ○= 点滅	原因	解決方法
● ● ○ ● ○	バキュームモーターのサーキットブレーカーの作動。	本機の電源スイッチを切り、サーキットブレーカーをリセットしてください。 ブレーカーが繰返し作動する場合は、サービスセンターに連絡してください。
○ ● ○ ○ ○	バキュームモーターの電流がハードウェアの限界を超えている。	本機を再始動してください。 故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。
○ ○ ● ● ●	バキュームモーターの電流が長期間高すぎる（電流1の故障）。	本機を再始動してください。 故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。
○ ○ ● ● ○	バキュームモーターの電流が長期間高すぎる（電流2の故障）。	本機を再始動してください。 故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。
○ ○ ● ○ ●	バキュームモーターの短絡。	サービスセンターに連絡してください。
○ ● ● ● ○	走行コントロールボードの通信不具合。	サービスセンターに連絡してください。
● ● ○ ○ ○	プロペルの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください。
○ ● ○ ● ○	本機の電源スイッチを入れる前にスタートベイルが引かれている。	本機の電源スイッチを入れる前に、スタートベイルを解除してください。
○ ● ● ○ ●	走行モーターの短絡。	サービスセンターに連絡してください。
● ● ○ ○ ●	プロペルサーキットブレーカーの作動。	本機の電源スイッチを切り、サーキットブレーカーをリセットしてください。 ブレーカーが繰返し作動する場合は、サービスセンターに連絡してください。
● ○ ● ○ ○	ソフトウェアのロード失敗。	サービスセンターに連絡してください。

搭載型充電器サービスインジケーターコード：

LED故障コード： ○= 点滅	原因	解決方法
○ ○ ○ ● ●	充電器がエラー状態。	サービスセンターに連絡してください。
● ○ ○ ● ●	充電器がバッテリーパックに接続されていない。	ケーブル接続を点検してください。
● ○ ● ● ●	充電器のオーバーヒート。	充電器を冷やす、または換気の良い場所に移動してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
● ○ ○ ○ ●	充電器が本機と通信していない。	充電器を再始動してください。 故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。
● ○ ○ ● ○	充電器タイマーが最大充電時間を超えている。 充電サイクルの中断。	バッテリーを交換してください。

バッテリーの充電

バッテリーは、充電回数で寿命が決まっています。
バッテリーを長く使用するためには、バッテリー放電インジケーターが赤色のライトに到達した時に充電してください。

注：
バッテリーの寿命を延ばすには、バッテリーを長時間放電状態にしないでください。

本マニュアルの充電の説明は、本機に付属するバッテリー充電器を対象としています。
テナント社純正またはテナント社認定のバッテリー充電器以外は、使用しないでください。
本機に定置型充電器が付属している場合、操作説明については、充電器専用の説明書を参照してください。
本機にバッテリー充電器が付属していない場合、適切な充電器については、販売店またはテナント社に連絡してください。

安全のために：
適合しない充電器を使用すると、バッテリーパックが損傷し火災を引き起こすおそれがあります。
使用中に搭載型充電器が問題を検出すると、本機にサービスコードが表示されます。
*「サービスインジケーターコード」*を参照してください。
定置型充電器のエラーコードは、充電器に付属する説明書を参照してください。

バッテリー充電器の仕様：

- 充電器の種類：
  - 湿式（鉛酸）バッテリー用
  - 密閉型（AGM）バッテリー用
- 出力電圧 - 36ボルト
- 出力電流 - 25アンペア
- 自動停止回路
- ディープサイクルバッテリー充電用

重要事項：
バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電用に設定されています。
異なった種類のバッテリーまたはバッテリー容量（湿式/鉛酸バッテリー、密閉型バッテリー、AGMバッテリーなど）に変更する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器とバッテリー放電インジケーター（BDI）をプログラミングし直す必要があります。
「バッテリー充電器の設定」を参照してください。

バッテリーの充電

1. 本機を通気のよい場所に移動してください。

⚠ 警告： 火災または爆発の危険。
バッテリーは水素ガスを排出します。
爆発や発火の危険があります。
充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

2. 本機を平らで乾燥した場所に停め、キーをオフにしてください。
3. 本機に湿式/鉛酸バッテリーが装備されている場合は、充電する前に電解液レベルを点検してください（図 27）。
   図に示すように、電解液レベルがバッテリープレートの少し上まであることを確認してください。
   液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。 入れすぎないでください。
   充電時に電解液が膨張し、溢れることがあります。

   毎週、電解液レベルを確認してください。

   本機にHydroLINKバッテリー式散水システムが装備されている場合は、バッテリーを充電する前に、水を補給しないでください（*「HydroLINKバッテリー式散水システム」を参照*）。

安全のために：
バッテリーを点検整備する場合は、必要に応じて、保護具を着用してください。
バッテリーの酸に触れないでください。

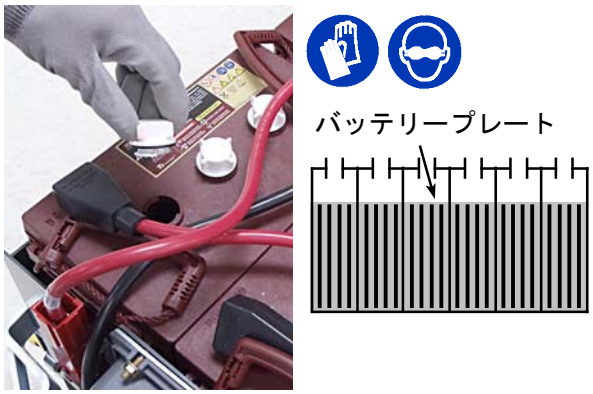


図 27

4. 搭載型充電器を装備しているモデルの場合、充電器の電源コードをストレージフックから取り外し、適切に接地された壁面のコンセントに電源コードを差し込んでください（図 28）。

図 28

定置型充電器を装備しているモデルの場合は、最初に充電器のDCコードをバッテリー充電器のソケットに接続し、次にAC電源コードを適切に設置された壁面のコンセント差し込んでください
（図 29）。
操作説明については、定置型充電器の説明書を参照してください。

安全のために:
充電器を使用しているときは、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。
アーク放電が生じることがあります。
充電を中断する場合は、まず、AC電源コードを外してください。

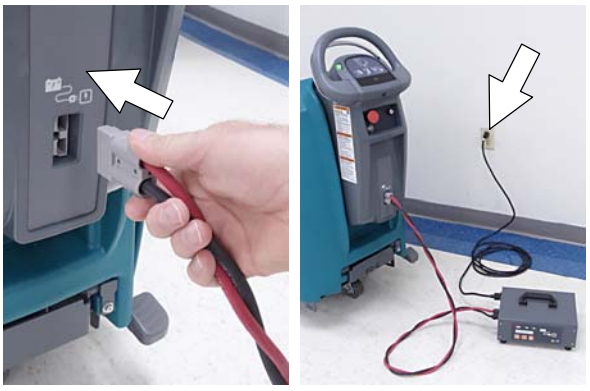


図 29

5. 充電器は自動的に充電を開始し、バッテリーが完全に充電されると充電を停止します。
最大の充電サイクルは、バッテリーの種類により、6～10時間です。

搭載型のバッテリー充電器：
5つのバッテリー放電インジケーターのライトすべてが点滅している場合、充電サイクルは完了しています（図 30）。

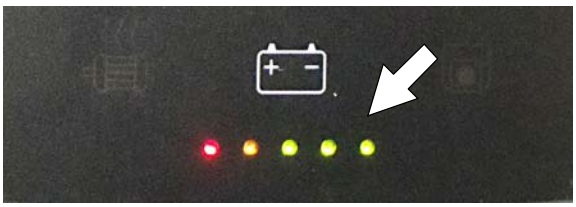


図 30

6. 充電後、電源コードを取り外し、コードフックの周りに巻き付けてください（図 31）。

定置型充電器を装備したモデルの場合は、充電器を本機から取り外す前に、必ずAC電源コードを取り外してください。

図 31

バッテリー充電器の設定

バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電用に設定されています。
異なった種類のバッテリーまたはバッテリー容量に変更する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器とバッテリー放電インジケーター（BDI）をプログラミングし直す必要があります。

本機をプログラミングし直す場合は、サービスセンターに連絡する、またはソフトウェアインストールキット（p/n 9012788）を注文してください。

搭載型充電器を装備するモデルの場合は、本機をプログラミングし直す代わりに、搭載型バッテリー充電器の設定を手動で変更することができます。
次に説明するように、定置型充電器の設定が適切に変更されると、本機のソフトウェアは新しいバッテリーの種類に応じて、BDIを自動的に再プログラミングします。

本機に定置型バッテリー充電器を装備されている場合、BDIの設定を変更するには、リプログラミングキットが必要です。
BDIの再プログラミングの後、定置型充電器の説明書を参照して、充電器設定を変更してください。

搭載型バッテリー充電器の設定を変更するには：

1. バッテリー充電器の電源コードをコードフックから外します。
2. T25のスタードライバーを使用してコントロールコンソールの底面にある2つのネジを取り外し、バッテリー充電器に手が届くようにします（図 32）。

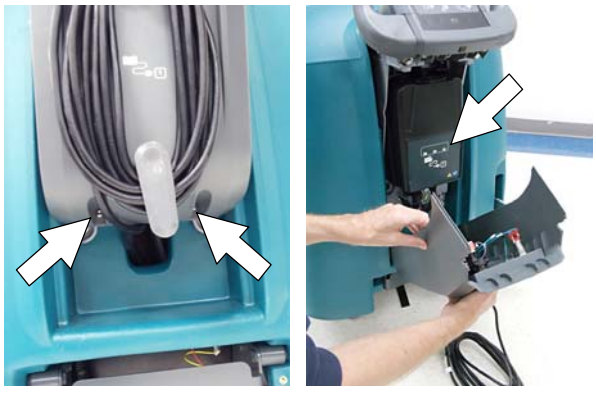


図 32

3. 充電器の表示ラベルを慎重にはがし、ダイヤル設定にアクセスします（図 33）。

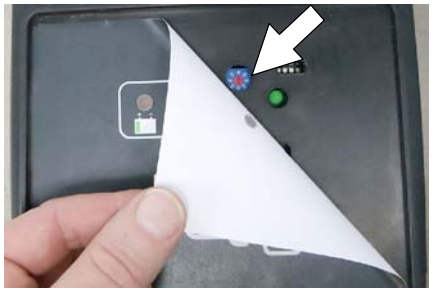


図 33

4. 小型の標準的なドライバーを使用して、次の表に従ってダイヤルを適切なバッテリーの種類まで回します（図 34）。

注：「0」の位置は、本機が出荷時にプログラムされている場合、またはソフトウェアインストールキットを使用する場合にのみ使用します。
設定を「0」から変更すると、ソフトウェアインストールキットを使用して、本機がプログラミングし直さない限り、「0」に戻さないでください。「0」に戻すと、バッテリーが損傷する可能性があります。

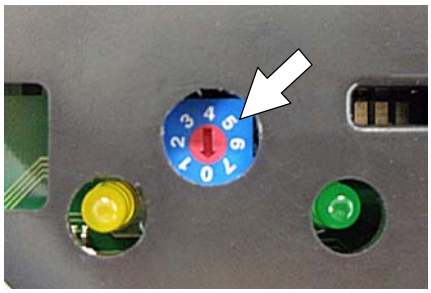
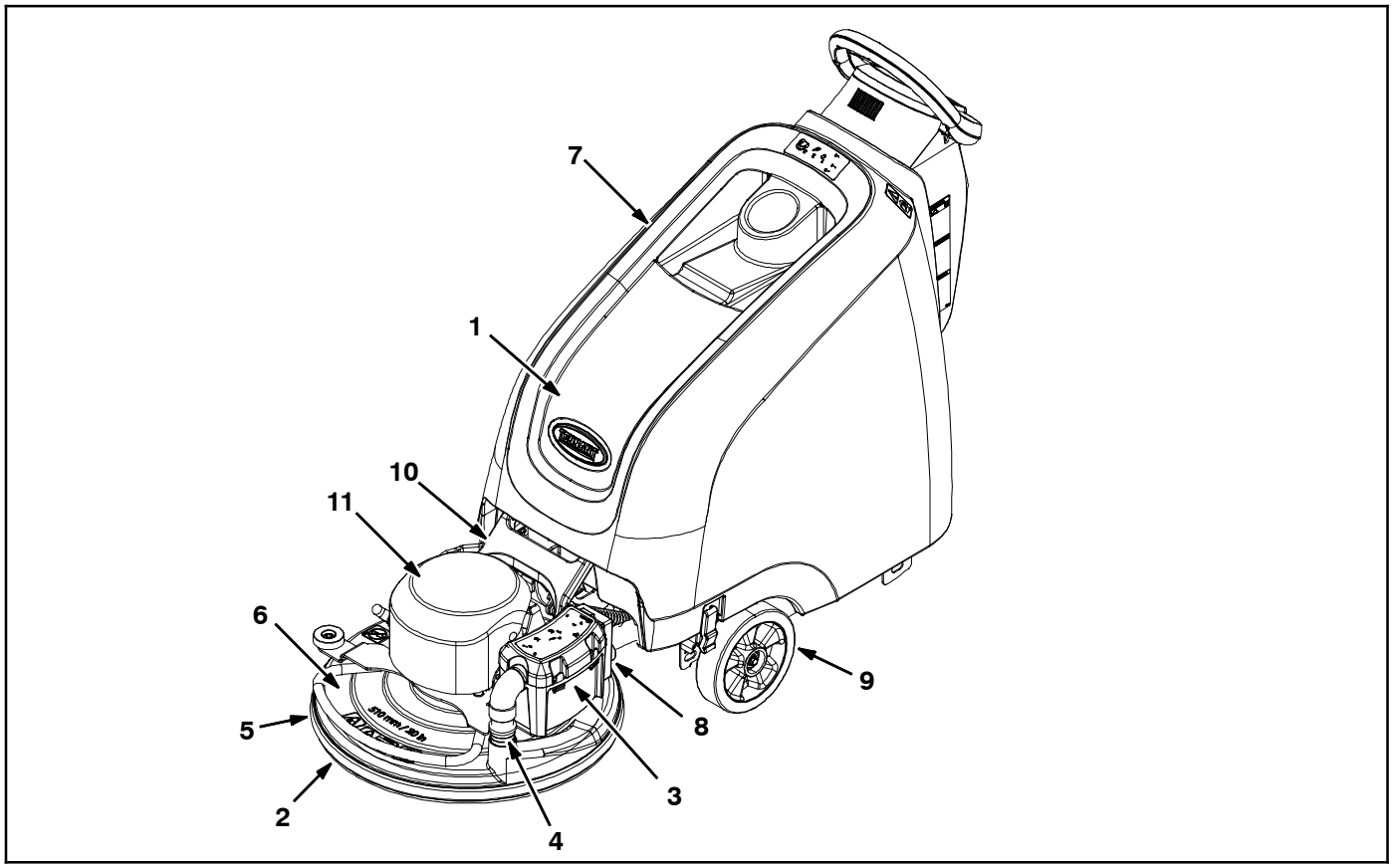


図 34

ダイヤルの位置:	バッテリー点検箇所の設定
0	出荷時およびソフトウェアキットの設定
1	湿式、Trojan 180-250 AH
2	湿式、Trojan 260-360 AH
3	湿式、Enersys 200-350 AH
4	AGM、Discover 200-300 AH
5	AGM、Fullriver 200-350 AH
6	ゲル、Sonnenschein 150-250 AH

5. 表示ラベルを元に戻します。
6. コントロールコンソールを元の位置に戻します。
7. BDIを新しいバッテリーの種類に設定するには、搭載型バッテリー充電器のコードをコンセントに差し込みます。

メンテナンス表



周期/時間	責任者	参照番号	点検箇所	点検内容
毎日	O	1	バッテリー	充電
	O	2	つや出しパッド	点検、裏返し、または交換
	O	3	集塵バッグ	点検、交換
	O	4	バキュームホース	点検、清掃
	O	5	つや出しヘッドダストスカート	乾燥した床の表面仕上げ剤の塊を付着点検
毎週	O	1	バッテリー電解液レベル	点検。液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。
50操作時間毎	O	5	つや出しヘッドダストスカート	損傷や摩耗の点検
	O	6	つや出しヘッド	空気ホースによる清掃
	O	7	マシン	ウエスによる清掃
100操作時間毎	O	1	HydroLINKバッテリー式散水システム（オプション）	ホースと接続部の損傷、磨耗の点検
200操作時間毎	O	1	バッテリー、端子、ケーブル	点検または清掃
	O	8	バキュームHEPAフィルター（アクティブダストコントロールモデル）	点検、清掃、交換
750操作時間毎	T	9	走行モーター（駆動モデル）	カーボンブラシの交換
1000操作時間毎	T	10	ヘッドリフトブッシング、4箇所	検査およびブッシングの交換
	T	11	パッドモーター	カーボンブラシの交換

O = オペレーター　T = 訓練を受けた者

本機の点検整備

本機を良好に使い続けていただくためにも、本機の点検整備の指示に従ってください。

安全のために:
本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めて、スイッチを切ってキーを取り外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

安全のために:
本機の点検整備をする場合は、必要に応じて、保護具を着用してください。
すべての修理は、訓練を受けた担当者が行ってください。

毎日の整備

1. つや出しパッドを裏返す、または新しいパッドに取り替えてください（図 35）。

図 35

2. 集塵バッグがいっぱいではないか点検します。バッグの半分まで使用されている場合は、交換します（図 36）。

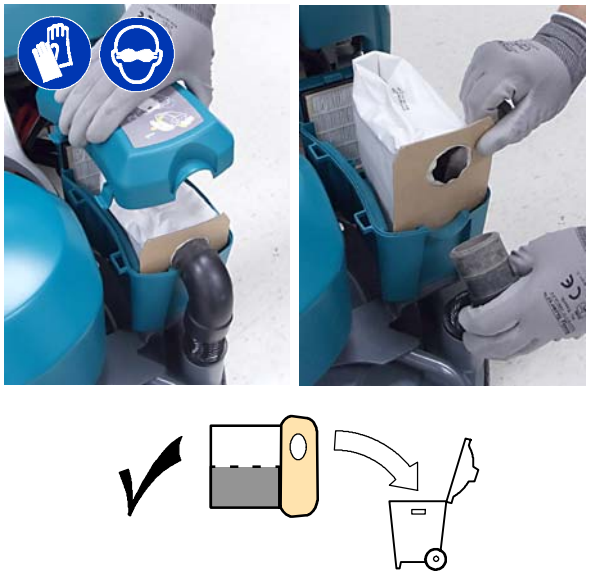


図 36

3. バキュームホースに詰まりがないか点検します。必要に応じて、ホースを清掃してください（図 37）。

図 37

4. バッテリーを充電します（図 38）。
「バッテリーの充電」を参照してください。

搭載型充電器　　定置型充電器

図 38

1週間の運転毎の整備

すべてのバッテリーで電解液レベルを確認します（図 39）。
「バッテリーの点検整備」を参照してください。

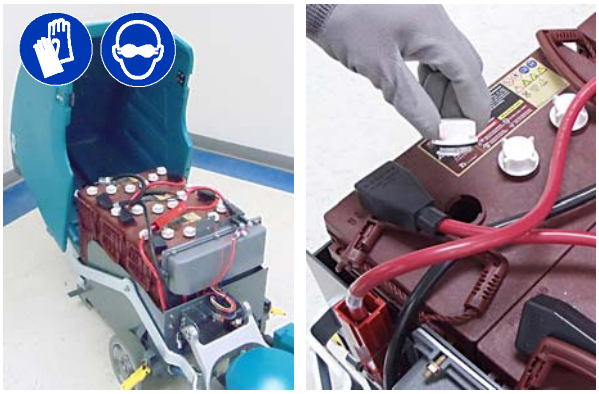


図 39

50時間の運転毎の整備

1. ダストスカートの摩耗や損傷を点検します（図 40）。
   摩耗や損傷がある場合は交換してください。

図 40

2. つや出しヘッドとパッドモーターにたまった埃を空気圧ホースで清掃します（図 41）。 最大の空気圧は 100 psi/690 kPa。

安全のために:
本機を点検整備する場合は、必要に応じて、保護具を着用してください。

図 41

3. 本機の外面は、汎用のクリーナーとウエスを使用して清掃してください（図 42）。

図 42

100時間の運転毎の整備

オプションのHydroLINKバッテリー式散水システムが装備されている場合は、散水ホースと接続部に損傷や摩耗がないことを点検します（図 43）。
損傷がある場合は、交換してください。

安全のために:
バッテリーを点検整備する場合は、必要に応じて、保護具を着用してください。
バッテリーの酸に触れないでください。

図 43

200時間の運転毎の整備

1. バッテリーを清掃し、バッテリーケーブルの接続に緩みがないことを点検します（「バッテリーの点検整備」を参照してください）。
2. アクティブダストコントロールコレクションを装備しているモデルの場合は、HEPAフィルターを交換します（図 44）。

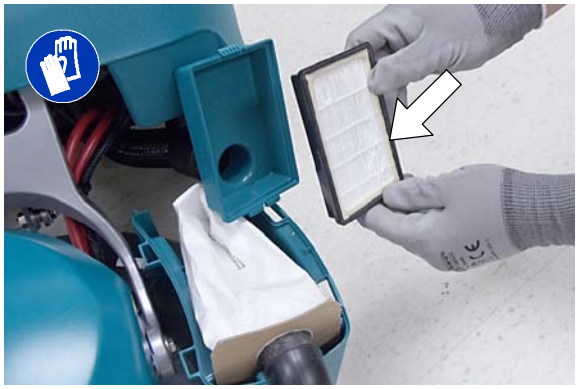


図 44

1000時間の運転毎の整備

ヘッドリフトブラケットアセンブリーのブッシングが摩耗していないことを点検します（図 45）。
ヘッドが跳ね返ったり、振動する場合は、ブッシングを交換します。

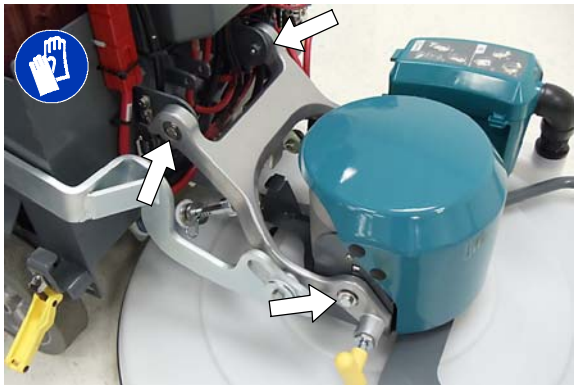


図 45

モーターの点検整備

説明に従い、モーターのカーボンブラシを交換してください。
カーボンブラシの交換については、訓練を受けた担当者に問い合せてください。

カーボンブラシの交換	累積使用時間
走行モーター（駆動モデル）	750
パッドモーター	1000

バッテリーの点検整備

安全のために:
本機を離れる場合は、本機を水平な床に停め、スイッチを切ってキーを取り外してください。パーキングブレーキを装備している場合はパーキングブレーキをかけてください。

バッテリーは、充電回数で寿命が決まっています。
バッテリーを長くお使いいただくため、バッテリー放電インジケーターが点滅し始めた場合のみバッテリーを充電してください。
また、バッテリーが寿命となるまで、電解液レベルを適切に保つことも重要です。

本機には、テナントが提供する湿式/鉛酸バッテリーまたは密閉型AGMバッテリーが装備されています。

安全のために:
本機を点検整備する場合は、必要に応じて、保護具を着用してください。
バッテリーの酸に触れないでください。

安全のために:
本機を点検整備する場合は、金属製品をバッテリーに近づけないでください。

密閉型AGMバッテリー

密閉型AGMバッテリーはメンテナンス不要です。本マニュアルで説明するように、定期的な充電以外の手入れは必要ありません。

湿式/鉛酸バッテリー

湿式/鉛酸バッテリーは、次に示すように、定期的な点検整備を必要とします。

注:
本機にHydroLINKバッテリー式散水システムオプションが装備されている場合は、「HydroLINKバッテリー式散水システム」を参照してください。

毎週、バッテリー電解液レベルを確認してください。
充電前に必ず電解液レベルがバッテリープレートのわずかに上であることを確認してください（図 46）。
液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。 入れすぎないでください。
充電時に電解液が膨張し、溢れることがあります。

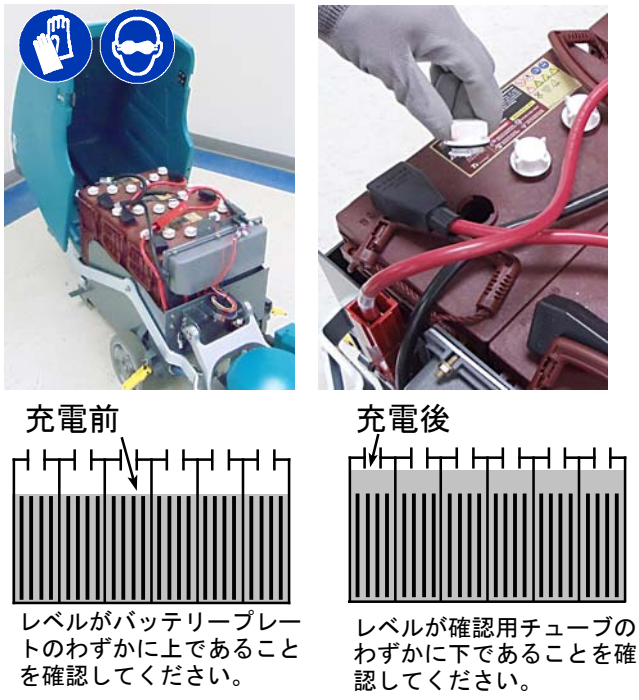


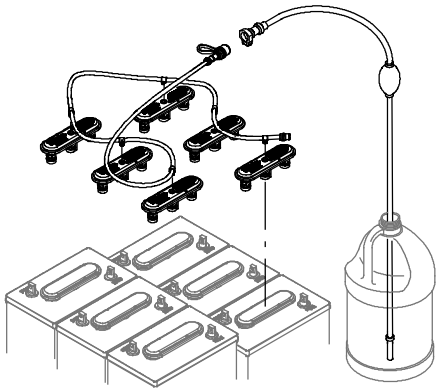
図 46

約200時間使用した後、バッテリーの接続に緩みがないか点検し、バッテリーが腐食しないように、端子、ケーブルおよびケーブルクランプを含む、バッテリーの表面を清掃してください。
洗浄ブラシにはベーキングソーダと水の濃度の高い混合液を使用してください（図 47）。
バッテリー清掃中は、バッテリーキャップを取り外さないでください。

図 47

HYDROLINK®
バッテリー式散水システム（オプション）

以下の説明は、オプションのHydroLINKバッテリー式散水システムを装備したモデルに適用します。



オプションのHydroLINKバッテリー式散水システムにより、バッテリーの適切な電解液レベルを安全かつ簡単に保持できます。

このバッテリー式散水システムもアフターサービスのセット（p/n 9010301）
として提供されます。 本製品は、Trojan®
湿式/鉛酸バッテリー専用に設計されています。

安全のために:
本機を点検整備する場合は、必要に応じて、保護具を着用してください。
バッテリーの酸に触れないでください。

バッテリー式散水システムを使用する前に、ホースと接続部に損傷や摩耗がないことを点検してください。

1. バッテリー式散水システムを使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。充電前にバッテリーに水を加えないでください。充電時に電解液レベルが膨張し、溢れることがあります。
2. 充電完了後は、バッテリーカバーの上にある電解液レベルインジケーターで充電の状態を確認してください（図 48）。
   レベルインジケーターが白の場合は、以下に示す方法で水を追加してください。
   インジケーターが黒の場合は、電解液レベルは正常です。水を追加する必要はありません。

図 48

3. バッテリー室内にバッテリーフィルホースカプラが装備されています。
   ダストキャップを外し、手動ポンプのホースを接続します（図 49）。

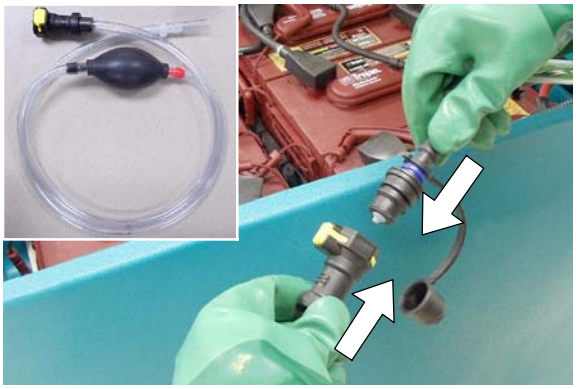


図 49

4. 手動ポンプのホースのもう一端を蒸留水タンクに挿入します（図 50）。

図 50

5. 手動ポンプの球体部分を握って放す動作を繰り返し、液体を注入します（図 51）。
   満タンになるとインジケーターが黒に変わります。

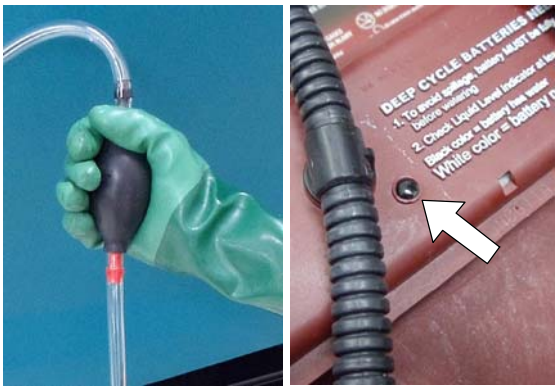


図 51

6. 給水後、バッテリーフィルホースのダストキャップを交換し、以降も使用できるように手動ポンプホースをバッテリー室に戻してください。

本機のジャッキアップ

安全のために:
本機を離れる場合や本機を点検整備する場合は、本機を平らな場所に停めてスイッチを切り、キーを取り外してください。

指定された場所で本機をジャッキで持ち上げてください（図 52）。
本機の重量を支えられるジャッキを使用してください。
本機を平らな場所に置き、ジャッキで持ち上げるまでタイヤに輪留めを取り付けます。

安全のために:
本機を点検整備するときは、指定の場所でのみジャッキで持ち上げてください。
本機の重量を支えられるジャッキまたはホイストを使用してください。
本機をジャッキスタンドで支えてください。

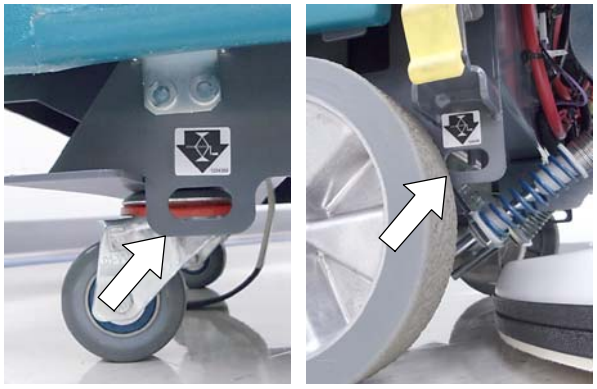


図52

輸送のための本機の積み降ろし

トレーラーまたはトラックで本機を輸送する場合は、積み込みおよび固定手順に慎重に従ってください。

1. トラックまたはトレーラーに本機を積み込むときに、ヘッドを損傷しないように、つや出しヘッドをトランスポート位置に引き上げます（図 53）。

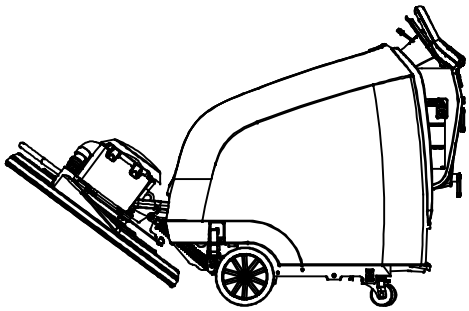
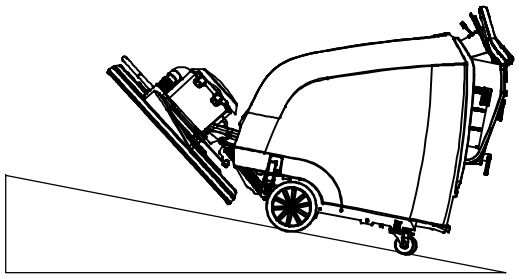


図 53

2. 本機および運転者の重量を支えられるランプを使用して、注意して本機を積み込んでください。
   傾斜角度が19.5パーセント以上のランプでは本機を使用しないでください（図 54）。
   ランプの傾斜角度が19.5パーセントを超える場合は、ウィンチを使用してください。

安全のために:
本機をトラックまたはトレーラーに積み降ろしする際は、本機およびオペレーターの重量を支えられる傾斜台を使用してください。

傾斜角度が19.5パーセント以上のランプでは本機を使用しないでください。
ロープを使用して、本機をトラックまたはトレーラーに固定してください。



ランプの最大傾斜角度 19.5%

図 54

3. 積み込む際には、本機フロント部をトレーラーまたはトラックのフロント部に向けます。
   つや出しヘッドを床に下げて、キーをオフの位置に回してください（図 55）。

4. それぞれのホイールの後ろに輪留めを置いてください（図 55）。
5. 固定用ロープを使用し、本機のフレームの固定ロープ用ブラケットで本機の前面・背面を固定します（55）。
   トレーラーまたはトラックの床に固定用ブラケットを取り付ける必要がある場合もあります。
   つや出しヘッドのリフトペダルを固定具として使用しないでください。

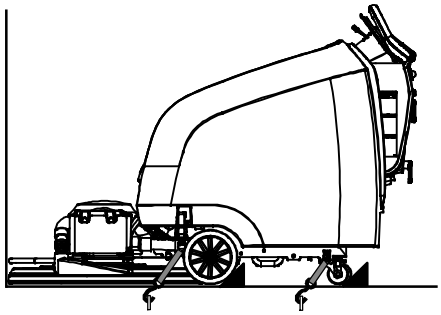


図 55

6. 本機を降ろすときは、注意してランプの上をバックで降ろします。前進により、本機を降ろさないでください。

本機の保管

本機を長期間保管する場合は、以下に注意してください。

1. バッテリーの寿命を延ばすため、本機を保管する前にバッテリーを充電してください。
   3ヶ月毎にバッテリーを充電してください。
2. つや出しヘッドを床からわずかに上げてください。
3. 本機は涼しい乾燥した場所に置いてください。
4. 電源を切り、キーを外してください。

注：
損傷を防ぐために、本機を齧歯動物や昆虫のいない環境で保管してください。

⚠ 警告：
発火、爆発、感電、損傷のリスクを軽減するため、本機は雨がかからないように、屋内で保管してください。

5. 収納場所が狭い場合は、次のようにヘッドを上げます（図 56）。

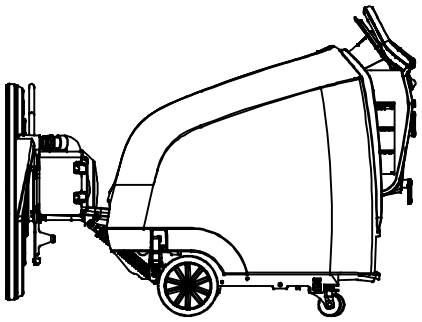


図 56

故障診断

問題点	原因	解決方法
サービスインジケーターマークが点滅している。	本機または搭載型充電器の故障	取扱説明書の「サービスインジケーターコード」を参照してください
電源が入っていない	非常停止ボタンがオンになっている	ボタンを回し、リセットする
	バッテリーの放電	バッテリーを充電する
	バッテリーケーブルの緩みまたは未接続	バッテリーケーブルの接続部を固定する
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットする
	キースイッチの故障	サービスセンターに連絡してください。
本機が前進しない（駆動モデル）	運転の故障検出	取扱説明書の「サービスインジケーターコード」を参照してください
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットする
	走行モーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください。
	モーターのカーボンブラシが摩耗している	サービスセンターに連絡してください。
パッドモーターが動作しない	低電圧遮断機がオンになっている	バッテリーを充電する
	パッドモーターの故障検出	取扱説明書の「サービスインジケーターコード」を参照してください
	パッドモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください。
	モーターのカーボンブラシが摩耗している	サービスセンターに連絡してください。
バキュームモーターが動作しない（アクティブダストコレクションモデル）	バキュームモーターの故障検出	取扱説明書の「サービスインジケーターコード」を参照してください
	バキュームモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください。
	バキュームのサーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーボタンをリセットする
プッシュモデルにブラシアシストがない	つや出しヘッドの角度の不適切な調整	サービスセンターに連絡してください。

故障診断 – 続き

問題点	原因	解決方法
充電器が動作しない	バッテリーの過放電	バッテリーを交換する
	充電器の故障検出	取扱説明書の「サービスインジケーターコード」を参照してください
	充電器の故障	充電器を交換する
つや出しの性能が悪い	パッドの摩耗	パッドを裏返す、または交換する
	間違ったパッド接地圧	パッドの接地圧を調節する
		「パッド接地圧の設定」を参照
稼働可能時間が短い。	バッテリー充電の低下	バッテリーを充電する
	バッテリーのメンテナンス	「バッテリーの点検整備」を参照してください。
	バッテリーの故障またはバッテリーの耐用寿命	バッテリーを交換する
	バッテリー放電インジケーター（BDI）の間違ったプログラミング	「バッテリーの充電」参照してください
	パッド接地圧が高すぎる	パッド接地圧を減少する
		「パッド接地圧の設定」を参照
	充電器の故障	充電器を交換する

B5モデルの寸法/容量/性能

モデル	B5 510mm プッシュモデル	B5 510mm 駆動モデル
全長	1499mm	1499mm
全幅	622mm	622mm
全高	1092mm	1092mm
重量	87,5kg	90kg
重量（バッテリー込み）	230kg	259kg
洗浄幅	510mm（20 in）	510mm（20 in）
生産性（最大）	1500m^2/時	1900m^2/時
生産性（実質）	1200m^2/時	1670m^2/時
つや出し速度（可変）	パッドアシスト	最小: 30mpm 最大: 60mpm
走行速度（最大）	データなし	前進： 73mpm 後進： 44mpm
通路回転（最小）	1524mm	1524mm
平面角度（最大）	作動： 9%、輸送：19,5%	作動： 9%、輸送：19,5%
走行モーター	データなし	24V、14A、.363hp / .27kW、271W
パッドモーター	36V、75A、2,8hp 最大/ 2,1kW	36V、75A、2,8hp 最大/ 2,1kW
パッド接地圧	可変	可変
パッド速度	2100rpm	2100rpm
バキュームモーター（アクティブダストコレクション）	36V、5A、180W / 0,18kW	36V、5A、180W / 0,18kW
HEPAフィルター（アクティブダストコレクション）	99,97% @0,3ミクロン	99,97% @0,3ミクロン
フィルター（自動ダストコレクション）	95% @0,3ミクロン	95% @0,3ミクロン
集塵バッグ容量	1,4L	1,4L
本機の電圧	DC36V	DC36V
バッテリー容量	3 - 12V、185 Ah 湿式/鉛酸（標準） 3 - 12V、 225 Ah 湿式/鉛酸（オプション） 3 - 12V、234 Ah AGM（オプション）	3 - 12V、 225 Ah 湿式/鉛酸（標準） 3 - 12V、234 Ah AGM（オプション）
電力消費量	60A / 1,9kw 公称	60A / 1,9kw 公称
バッテリー充電器	AC120V、 60Hz、DC36V、25A	AC120V、 60Hz、DC36V、25A
	AC220/240V、60Hz DC36V、25A	AC220/240V、60Hz DC36V、25A
保護等級	IPX3	IPX3
音圧レベルL_{pA}（アクティブダストコレクション）	64dB（A）	64dB（A）
音圧レベルL_{pA}（自動ダストコレクション）	65dB（A）	65dB（A）
音の不確定性K_{pA}	3,0dB（A）	3,0dB（A）
音響出力レベルL_{wA}＋不確定性K_{wA}	xx dB(A)	xx dB(A)
手から腕での本機の振動	<2,5m/s^2	<2,5m/s^2
振動の不確定性 K	0,2m/s^2	0,2m/s^2
動作周囲温度	最小： 0°C 最大： 43°C	最小： 0°C 最大： 43°C

EN 60335-2-72に準拠する数値

本書に記載された仕様は、予告なく変更される場合があります。

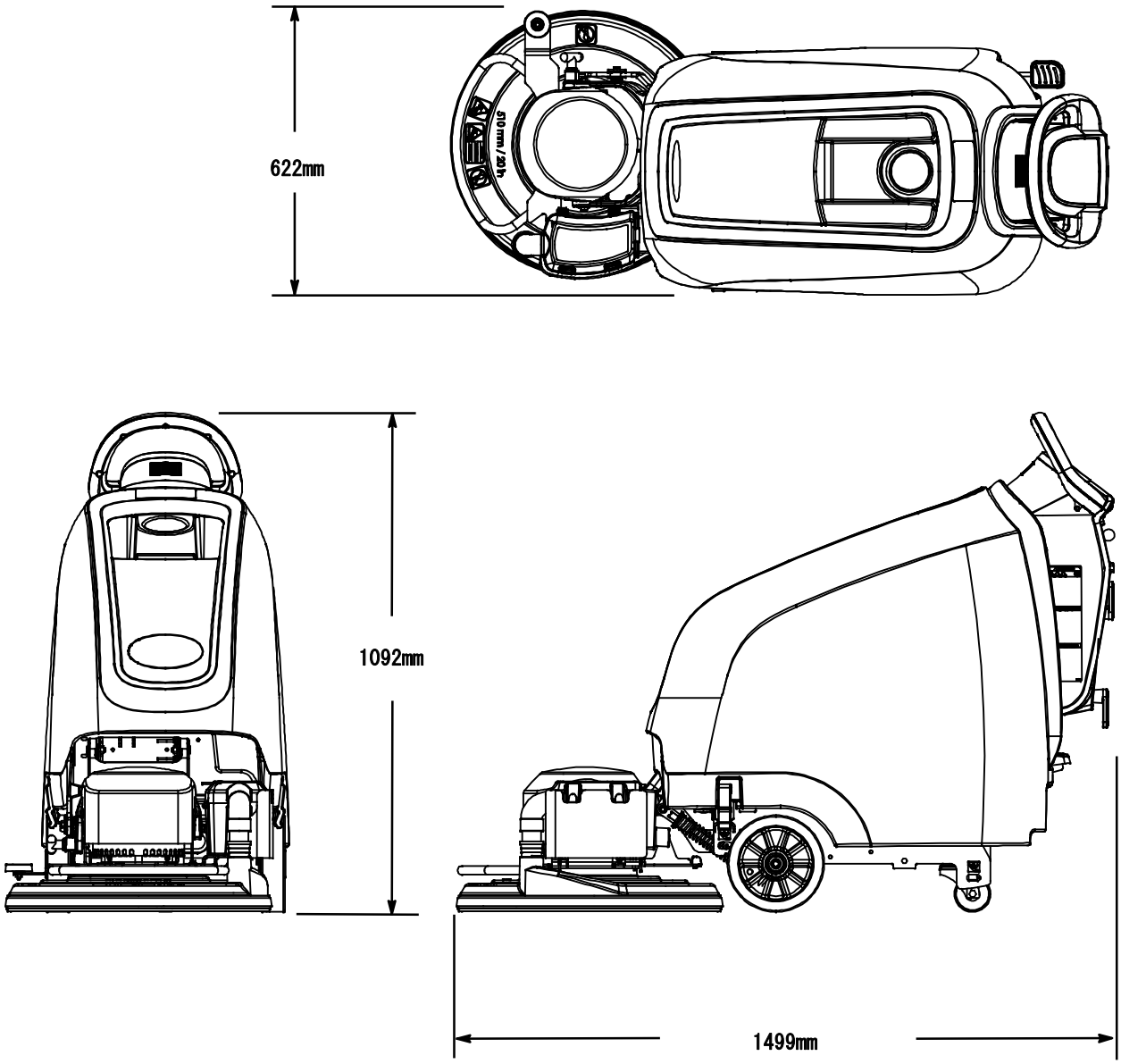
B7モデルの寸法/容量/性能

モデル	B7 610mm 駆動モデル	B7 690mm 駆動モデル
全長	1562mm	1602mm
全幅	762mm	800mm
全高	1092mm	1092mm
重量	111,5kg	115kg
重量（バッテリー込み）	279kg	362kg
洗浄幅	610mm	690mm
生産性（最大）	2200m^2/時	2500m^2/時
生産性（実質）	2000m^2/時	2300m^2/時
つや出し速度（可変）	最小： 30mpm 最大： 60mpm	最小： 30mpm 最大： 60mpm
走行速度（最大）	前進： 73mpm 後進： 44mpm	前進： 73mpm 後進： 44mpm
通路回転（最小）	1588mm	1626mm
平面角度（最大）	作動： 9%、輸送：19,5%	作動： 9%、輸送：19,5%
走行モーター	24V、14A、.363hp / .27kW、271W	24V、14A、.363hp / .27kW、271W
パッドモーター	37V、90A、3,6hp 最大/ 2,6kW	37V、90A、3,6hp 最大/ 2,6kW
パッド接地圧	可変	可変
パッド速度	1875rpm	1875rpm
バキュームモーター（アクティブダストコレクション）	36V、5A、180W / 0,18kW	36V、5A、180W / 0,18kW
HEPAフィルター（アクティブダストコレクション）	99,97% @0,3ミクロン	99,97% @0,3ミクロン
フィルター（自動ダストコレクション）	95% @0,3ミクロン	95% @0,3ミクロン
集塵バッグ容量	1,4L	1,4L
本機の電圧	DC36V	DC36V
バッテリー容量	6 - 6V、240 Ah 湿式/鉛酸（標準） 6 - 6V、312 Ah AGM（オプション） 6 - 6V、360 Ah 湿式/鉛酸（オプション）	6 - 6V、330 Ah 湿式/鉛酸（標準） 6 - 6V、312 Ah AGM（オプション） 6 - 6V、360 Ah 湿式/鉛酸（オプション）
電力消費量	75A / 2,4kw 公称	75A / 2,4kw 公称
バッテリー充電器	AC120V、 60Hz、DC36V、25A	AC120V、 60Hz、DC36V、25A
	AC220/240V、60Hz DC36V、25A	AC220/240V、60Hz DC36V、25A
保護等級	IPX3	IPX3
音圧レベルL_{pA}（アクティブダストコレクション）	63dB (A)	63dB (A)
音圧レベルL_{pA}（自動ダストコレクション）	65dB (A)	65dB (A)
音の不確定性K_{pA}	3,0dB (A)	3,0dB (A)
音響出力レベルL_{wA}＋不確定性K_{wA}	xx dB(A)	xx dB(A)
手から腕での本機の振動	<2,5m/s^2	<2,5m/s^2
振動の不確定性 K	0,2m/s^2	0,2m/s^2
動作周囲温度	最小： 0°C 最大： 43°C	最小： 0°C 最大： 43°C

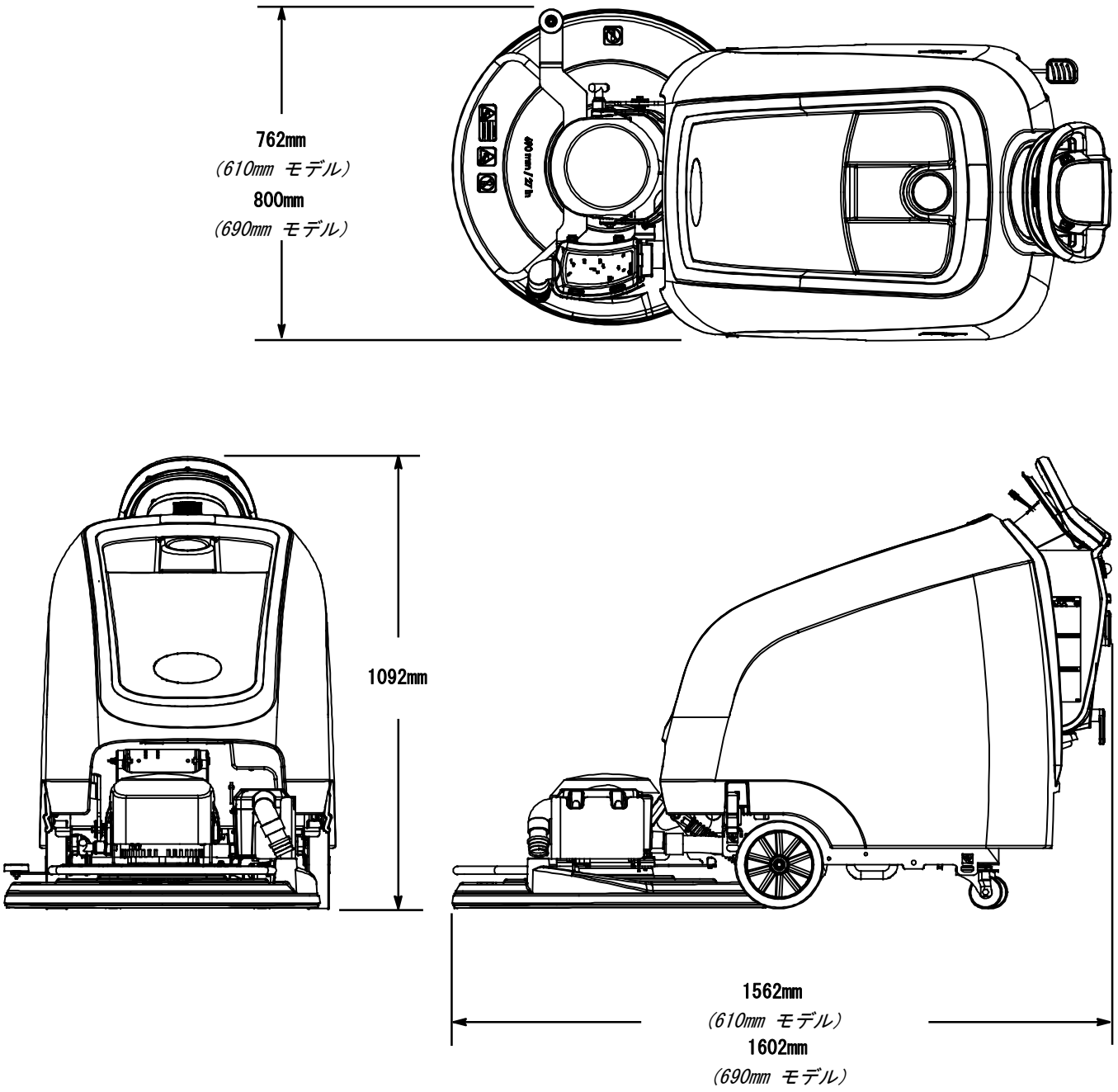
EN 60335-2-72に準拠する数値

本書に記載された仕様は、予告なく変更される場合があります。

B5モデルの寸法



B7モデルの寸法


762mm
(610mm モデル)
800mm
(690mm モデル)
1092mm
1562mm
(610mm モデル)
1602mm
(690mm モデル)